

「甲州街道」

五街道のひとつである甲州街道は、交通政策として江戸幕府によって作られた。東京は日本橋から長野県下諏訪まで続く甲州街道は、経済上はもちろんのこと、軍事上、警備上もとても重要な街道であった。

現在においてもそういった歴史が残る、そんな甲州街道をぜひこの機会に散策してみたいかたがでしょう。

※渋谷区内のルートは初台～幡ヶ谷～笹塚



『街道をゆく 1 湖西のみち、甲州街道、長州路ほか』

司馬 遼太郎／著
朝日新聞出版(朝日文庫) 2008

日本各地の街道へ実際に著者がおもむき、街道はもちろんのこと、その歴史やそれらにまつわる話が、魅力ある文章で描き出されている。実際に甲州街道を散策し、著者が見た当時と今、その変化を体感してみたいかたがでしょう。



『ちゃんと歩ける甲州街道』

八木 牧夫／著
山と溪谷社 2015

甲州街道を江戸時代の道に沿って歩くためのガイドブック。道中の旧所・名所・見どころや街道歩きの注意点などを、詳細な地図とともに紹介する。普段何気なく見て歩いていた甲州街道が、一層面白く、楽しい散歩道になる一冊。

「渋谷読書人」は

渋谷に関わる人全てに向け、おすすめ本の情報を発信していく、渋谷区立図書館が発行する定期刊行物です。

渋谷読書人 2021年12月・2022年1月号

発行 / 編集 渋谷区立図書館
株式会社図書館流通センター

発行日 2021年12月

渋谷区立中央図書館

電話 3403-2591

住所 渋谷区神宮前1-4-1



感謝の気持ちと贈りもの

お世話になったあの人に、大切なあの人に、感謝を贈ってみませんか



『手紙のある暮らし』

一田 憲子／取材・構成 マイナビ 2015

様々な職業の女性たちの手紙を書く時のこだわりや実際にもらった手紙を、写真とともに紹介する。また、手紙を出す際のマナーなども掲載している。読んだあと、誰かに手紙を書きたくなる、そんな一冊。



『一目置かれる

大和言葉の言いまわし』

山岸 弘子／監修 宝島社 2015

奥ゆかしくやわらかな響きをもつ大和言葉。書きたいシチュエーションに合わせ、様々な大和言葉の言いまわしを紹介する。伝えたい気持ちを美しく彩る大和言葉で、ひと味違ったお手紙を。



『かならずお返事書くからね』

ケイトリン・アリフィレンカ／著
マーティン・ギャンダ／著
リズ・ウェルチ／編 大浦 千鶴子／訳
PHP研究所 2018

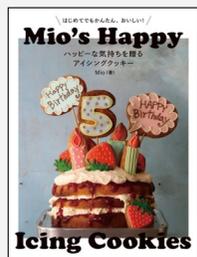
ささいなきっかけから文通をすることになったアメリカの少女とアフリカの少年。2人は手紙を通して性別、国籍、貧富などの違いを超えた友情を築いていく。やがて文通は彼らの人生や家族も変えていき…。生と知への感謝に満ちた一冊。



『気持ちを伝える贈りもの』

後藤 由紀子／著 大和書房 2020

贈りものにこめる「おめでとう」「ありがとう」。それらの贈る気持ちに合わせた逸品を、それぞれのシーンにそって、エッセイとともに紹介する。日々の暮らしは周りの助けがあってこそ。だからこそ、買って嬉しいもの、心地のいいものを、日頃の感謝の気持ちをこめて、周りの人に贈りたい。そんなときの品探しに最適な一冊。



『ハッピーな気持ちを贈る アイシングクッキー』

Mio／著 誠文堂新光社 2018

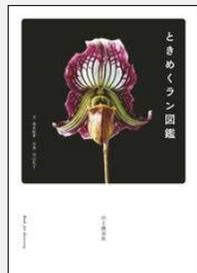
季節の行事やお祝い事、お礼に贈りたくなるような、味も見た目もうれしいアイシングクッキーのレシピ集。手作りだからこそ、おいしく伝わる感謝の気持ち。伝えたい言葉や気持ちをこめて、作ってみてはいかがでしょう。



『雑貨&フードラッピングブック』

オギハラ ナミ／著 誠文堂新光社 2017

手芸品やお菓子、小物からお土産など、包むものに合わせた多様なラッピングのアイデアを、基本的な包み方、結び方を含め紹介する。感謝の気持ちと贈りもの。可愛くお洒落なひと手間が、こめた気持ちを伝わりやすくしてくれます。



『ときめくラン図鑑』

清水 柁孝／文 当山 礼子／写真
山と溪谷社 2018

独創的で不思議な植物「ラン」。花や茎、根の形など、本当に同じ種類なのかと思わせるようなランの数々を、魅力的な写真とともに紹介する。お気に入りのランや相手に合わせたランを見つけて、贈ってみてはいかが？



『フラワーラッピング・マニュアル』

出崎 徹／著 誠文堂新光社 2019

お花をより効果的に、より美しく仕上げるフラワーラッピング。コスト面等も考慮し、様々な手法を、写真とともに紹介する。感謝のしるしに贈るお花を、ひと手間加えてより美しく。贈る気持ちも際立たせ、きっと相手に届くはず。

気になる 新着コーナー



『山のふもとのブレイクタイム』

高森 美由紀／著
中央公論新社 2021

あの味っこさ会えて、良かったー。「顔と料理が天才」と噂される登磨は、青森県南部・葵岳登山口にあるレストランのシェフ。彼には忘れられないものがあった。それは、亡き祖母と自分を繋ぐ料理で…。



『優しいロボット』

松井 龍哉／著
大和書房 2021

コンセプトづくりから実際のロボット開発、さらにチームマネジメント、プロモーション、スタジオ経営まで。世界のロボットデザインを牽引する著者が、ロボットの開発に携わった20年の活動を振り返る。



『山に生きる』

三宅 岳／著
山と溪谷社 2021

ゼンマイ折り、炭焼き、大山独楽作り、漆掻き、阿波ばん茶作り…。ひたすら山にしがみついて生きた山人たちの暮らしと山仕事を、豊富な写真とともに紹介する。